

平成27年度「成年後見制度研修会」アンケート集計結果

<参加者データ>

	人数	備考
申込数	86	
当日参加者数	85	欠席:12名/当日参加(事前申込無):11名
アンケート提出数	66	アンケート提出率: 77.6%

1 ①年代

	人数	構成比
20代	3	4.5%
30代	18	27.3%
40代	11	16.7%
50代	21	31.8%
60代	9	13.6%
70代以上	4	6.1%
合計	66	100.0%

②性別

	人数	構成比
男性	26	39.4%
女性	35	53.0%
無回答	5	7.6%
合計	66	100.0%

2 研修会を知ったきっかけは何ですか？

	人数	構成比	備考
広報ひろさき	5	7.6%	
案内文	35	53.0%	養成研修修了者/県内各施設・事業所等
ホームページ	2	3.0%	
ポスター	3	4.5%	
友人/知人から	12	18.2%	
その他	9	13.6%	Facebook/職場等
無回答	0	0.0%	
合計	66	100.0%	

3 基調講演「地域で支える権利擁護・成年後見のしくみ」について

	人数	構成比
とてもよかった	54	81.8%
よかった	12	18.2%
わからなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	66	100.0%

<意見・感想>

わかりやすかった。
とてもわかりやすいスライドとお話ありがとうございました。
普段きけないような内容だったので勉強になりました。
もっと多くの支援をする方々に聞いてもらいたい内容だった。
今後はこうなっていくべだという面もあり、受講して本当によかったというのが素直な感想です。
実体験に基づく具体例が多くてとてもわかりやすかった。
歴史的にもわかり、外国の例もわかってよかった。お話がうまかった。
実状と理想のギャップの理解が深まった。時間的に厳しかったようですが、もう少し聞きたかった。
ほどこしてなく、利用者本人の主体性を尊重し、自己決定できるように支援する。
わかりやすい話し方で面白かった。発想の転換の必要性和、市民オンブズマンの育成については驚いた。
「権利」ということが少しわかりました。私は親だからということで、少し子供の権利を蔑ろにしていたこともあったと気づかされた。
「地域で支える権利擁護」の背景が少しわかったが、そもそもの成年後見制度のこと自体、自分ではよくわかっていなかったなので、自分自身で勉強しようと思った。
講演を聞いてとても心苦しくなりました。成年後見制度の必要性和、気を付けなければならないこと等、大変勉強になりました。
講師の高山先生と同じ出身地でご縁を感じました。今でも実家はそこにあります。鋭い視点から自分の身を振り返らせていただく場面もありました。
成年後見制度の成り立ちに関わる考え方や背景を聞くことができた。時間が足りず、急いだ箇所についてももう少し聞きたかった。
大切な考え方ということがわかったが、どういう制度か知りたくて来たので、想像と少し違いました。でも配布された資料で基本的な情報を知ることができたので、だいたい理解できたと思う。
「成年後見制度が被後見人の自己決定権を侵害しても良いという民法に定められた制度」であるが故に、本人の側に立てなければ身上監護は難しいとの意見がグサッときました。
利用者のための施設制度で利用者主体を掲げているながらも利用者主体になっていない現状を認識はしていましたが、蔑ろにしている自分に気づくことができました。
「その人らしく生きるための支援」ということが印象深く、もし自分が被後見人になったら、やはり、そういった支援をしてくださる後見人を求めると思いました。
お話を伺って、改めて目を開かされた思いがしました。気づかず上から目線になり、被後見人の権利を侵害していたこともあったのかと反省し、肝に銘じなければと思いました。
高山先生の講義はとてもわかりやすく、内容も理解しやすかった。 理想像と現実を照合すると、まだまだ施設側の決め事が多いということにジレンマを感じます。
知りたいことが聞けて大変タメになりました。家庭のことと自分の将来のことで不安があり、参加しましたが、生涯学習として勉強したいと思う次第です。
障がい者や高齢者、子どもに限らず、全ての関係にあてはまるお話でした。自分の問題として深く受け止めました。有意義なお話、ありがとうございました。
「医学モデルから社会モデル」…健常者あるいは強者のための今日の社会になっているという話が心に響きました。ぜひ社会モデルへの転換を図っていききたいものです。
権利擁護の認識として「できないことの代弁」と大まかに捉えていたところがありました。「やりたいこと」に視点をおくことは、今の私の職業にも通じているので、改めて理解できたような気がします。大変勉強になりました。
成年後見制度と権利擁護についてわかりやすい講演でした。 社会が強者を中心とした制度の中で、市民1人1人がもっと身近な問題としてとらえ、地域で支え合えるようになってほしい。
原則的な部分と基本的な部分について改めて確認することができた。内容については、意思の通じる相手に対しての考え方なのかなと感じる部分もあった。 後半部分でドイツの植物状態の方の場合もうかがえたが、権利擁護の難しさを再認識することができた。

4 シンポジウム「ともに支え合う地域をめざして」について

	人数	構成比
とてもよかった	49	74.2%
よかった	14	21.2%
わからなかった	3	4.5%
無回答	0	0.0%
合計	66	100.0%

<意見・感想>

きちんと取り組んでいる様子が聞けてよかった。
自分たちの市民後見人としての経験を社会に還元していこうという姿勢がすばらしいと思います。
市民後見人をしっかり支えていることがわかった。
ネットワークづくりの理由がより深くわかりました。
ネットワークの大切さがわかりました。
市民後見人の方が2人共、とても考えがしっかりしていて頼もしく感じました。
弘前市には成年後見支援センターがあるので、心強いと思っています。
実際の後見の話と、これから先の福祉の目標が見えた。勉強になりました。
市民後見人として活動されている方の生の声を聞く機会を得ることができ、色々と考えさせられた。
市民後見人の生の声が聞けてよかったです。
実際に担当している後見業務について積極的な発言が多く、非常に参考になりました。
実践報告はもっと短い時間でよかったのではないかと思います。
福祉に携わる者として、制度を理解して身近なものにできたら良いと思った。
今、福祉・医療関係者等、日々関わっている人たちが、もっと前向きに考えて欲しい。
市民後見人として活動する方の事例を聞くことでイメージがわかりました。
高齢社会になるので、大変な仕事になると思う。人間として生きていくのに後見人は必要な仕事だが、大変な苦労があることがわかった。
専門職以外の人々だからこそ気づけることというのは、その人を本当の意味で支えるにはやはり必要だと改めて感じました。
実践報告だったので、大変さがすごく伝わってきました。「ありがとう」の反対語が「あたりまえ」という話が心に残りました。
サポート体制が整っていることで安心してお任せできると感じました。市民後見人の2人のお人柄がにじみ出ている、適切に選任がされていることに安心感を持ちました。
実際に活動している方々の生の声が聞けてとても良かったです。活動を広めていくことはたいせつなんだということが改めて実感できました。
市民後見人のお2人、お疲れ様でした。実に心ある・・・というのを感じました。今後どうぞ頑張ってくださいという気持ちです。
実際に後見人の活動の実話を聞き、後見人さんのご苦労に頭が下がるばかりです。私が後見人として求められたとすると「はい」とはなかなか言えないところがあります。
実際に活動している方の話が聞けて、どういうものか少し想像できました。私は自分の親のことをまず…と思いましたが、自分の親だと思ってこういう制度の活動をする人になるのもいいなと思いました。
実例がとてもイメージしやすく、わかりやすかったです。表に見える活動ばかりでなく、裏でのご苦労も知ることができ、現実味がわかりました。

5 全体をとおして

	人数	構成比
とてもよかった	53	80.3%
よかった	11	16.7%
わからなかった	0	0.0%
無回答	2	3.0%
合計	66	100.0%

ありがとうございました。
もう少し制度について詳しく知りたかったです。
必要なことだと思います。ありがとうございました。
またこのような研修の機会をつくってもらいたい。／今後年1回でも、こういう研修会を開催してほしい。
市民後見人という存在を初めて知りました。
またやって欲しい。後見人の仕事が、すごく大変で、市民後見人に助けられていることがよくわかりました。
成年後見制度を知らないひとが多いので、広めるために研修会を増やして欲しいです。
高山先生の著書、さっそく探して読みます。
市民後見人は興味深く、意義のある支援だと思う。もっと広く活動を知られる機会があればいいですね。
市民後見人の発表の後の高山先生の話のまとめの時間がとても実のあるものでした。
「そうだよね」等の感覚を忘れない人間性を持ち続けたいと思いました。ありがとうございました。
フォローアップ研修等も今後どんどん開催していただければ幸いです。
地域で暮らす方々の成年後見制度に対する理解を深めていく大切さを学びました。
色々なケースの中で対立もあるのでしょうか。これからもご活躍を期待しています。
被後見人に接する自分なりの基準を改めて認識することができた。どう接するかが大切だと思った。
現実を知ることができ、とても参考になりました。
勉強になりました。ありがとうございました。資料が高そうと思いました。
将来、実際に後見業務を担当する場合に発生する様々なケースの話があり、非常にわかりやすかった。
高山先生の「ヒューマンサービス」という言葉に引き付けられました。自らの今後に生かせるよう、人と人との繋がりを大切に励んでいきたいです。
こういった取り組み(研修会)を、専門職はもちろん、一般の市民にもっと広く参加できるようなやり方で実施していく必要があると思いました。ありがとうございました。
自分に余裕ができたなら、市民後見人に携わってみたいと感じました。
「声に出す」ことはとても大切ですが、まだそこまでできない自分です。
自分なりに、母親の介護をした時、果たして母の望みに本当に寄り添ったやり方をしてきたのか、すごく反省と共に、うるっとくる想いがありました。
今の矛盾した社会が少しずつでも変わっていけるように一人一人ができることから始めなければいけないという思いを強くしました。ありがとうございました。
成年後見制度による具体的な問題解決をした事例等があると良いかと思います。また、制度として成熟されていない感じがして、利用するのが良いかどうか、現時点では結論が見えなかった。
この研修は、施設に勤務する、特に若い職員に受けていただきたい重要な内容でした。
これから次世代へ受け継がれ、やがて自分も。どんどん知っていただきたい。
大変いい学習をさせていただきました。
これまでとは内容の異なる研修会でした。実に中身の濃いもので、うれしくなりました。
自分の将来が明るく思える部分もありました。ありがとうございました。
これから先、知的障がいのある子どもを1人残していくんだなと思っていましたが、色々今から道筋を考えてあげて、守っていきなと思いますし、困った時や困って居なくても、誰かに頼って、耳を傾けていこうと思いました。頼れる世の中であってほしいし、私も誰かのために力を出したいと思いました。
福祉施設で働いています。施設でもっともって成年後見制度について広めていき、活用できるようにしていきたいと思いました。今回参加させていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。今後もこのような機会があれば参加したいと思います。